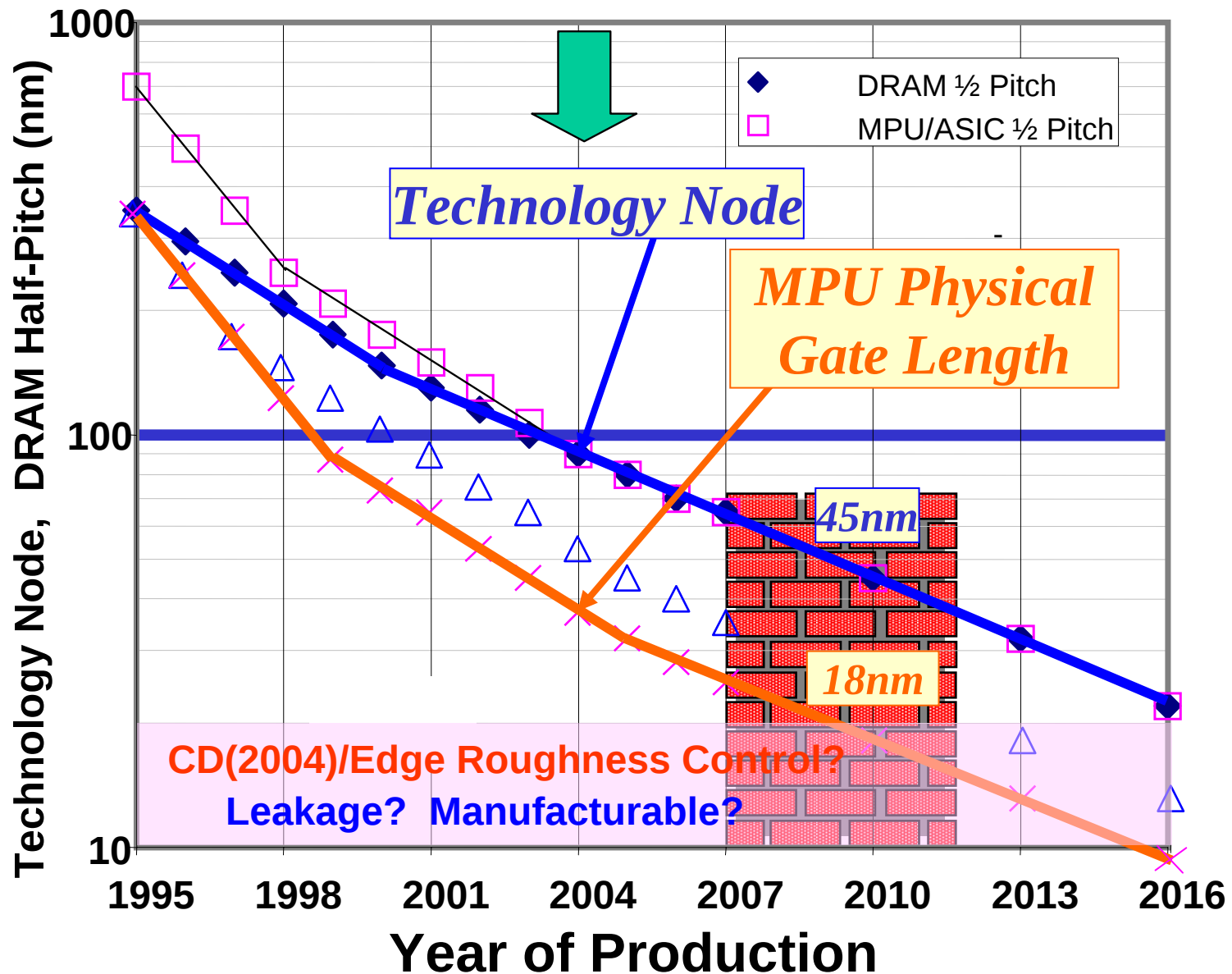


2004年度(2005年3月)STRJワークショップ

STRJ委員長、増原利明

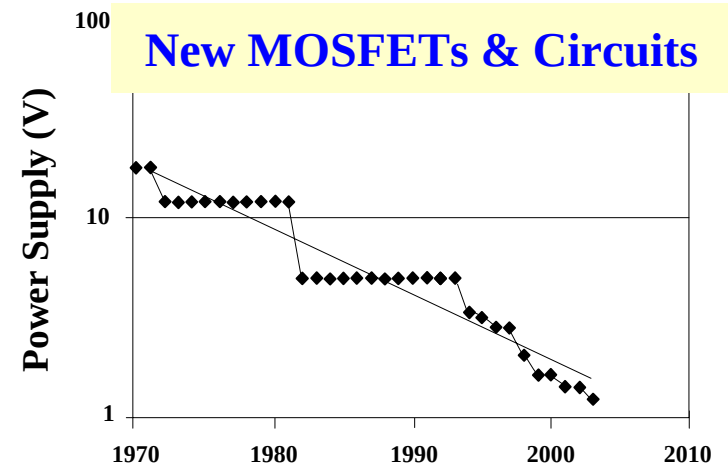
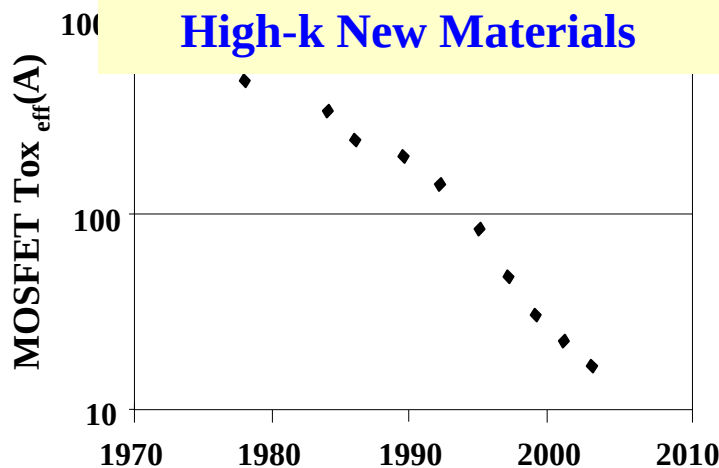
- 1 ロードマップの今後の課題
- 2 ITRSとSTRJ活動について

Technology Node (DRAM Half Pitch) and Gate Length

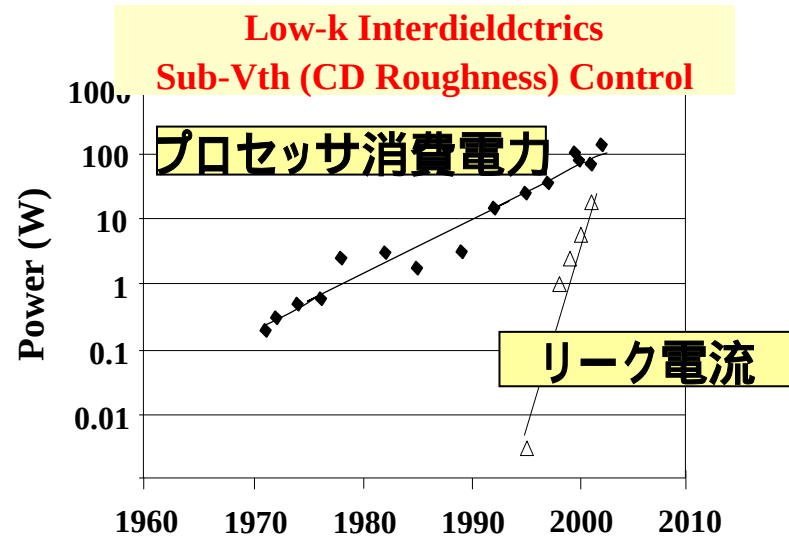


ISSCC 2003 Invited Paper (G. Moore)

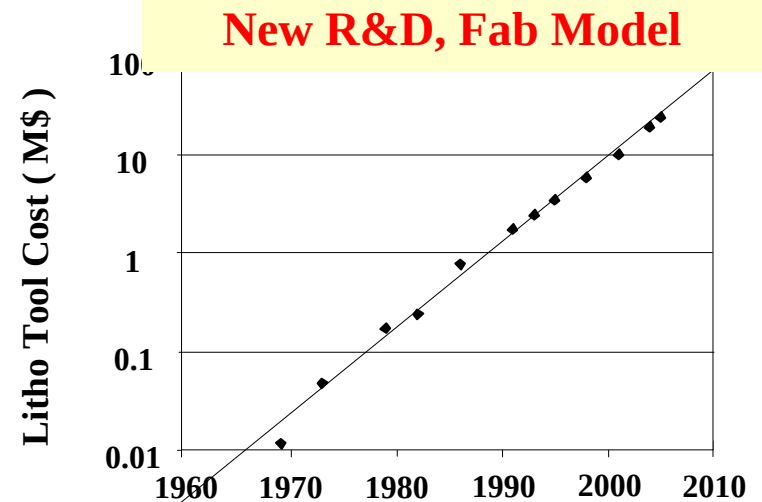
G. Moore, "No Exponential is Forever: But "Forever" can be Delayed", Keynote Address, 2003 ISSCC



MOSFET ゲートの膜厚



プロセッサの電源電圧



プロセッサ消費電力とリーク電流

リソグラフィ装置コスト

STRJ独自活動の展開

1 WG、クロスカット、タスクフォース活動

- (1) モバイルマルチメディア用システムLSIモデルを提案、トランジスタ・配線ロードマップの目標妥当性をスタディ (2002)
- (2) Low-k層間絶縁膜/Cu配線モデルを提案し配線目標をスタディ、2003ITRSに反映 (2003)
- (3) JEITAロジック標準プロセスによる半導体のLife Cycle Assessmentをスタディ (2003)
- (4) 故障解析タスクフォースを発足 (2003)
- (5) LER/LWR測定法クロスカットを実施 (2004)

2 半導体産業・技術開発の経済性検討委員会

- (1) 一橋大中馬教授(イノベーション研究センタ)と協力し、他産業での技術開発・生産インセンティブを喚起する手法をスタディ。Sematech IEM検討 (2002)
- (2) 海外での開発、コンソーシア、LLC等についてスタディ (2003)
- (3) 技術改良インセンティブを上げ、経営判断に使用できるオブジェクト指向原価把握手法「元気が出る原価管理」スタディ、開発 (2004、一橋大)

History of STRJ and ITRS

1990

1998

2000

2005

1991

MicroTech 2000
Workshop Report

1992NTRS

1994NTRS

1997NTRS

SIA Roadmap

Europe

Japan

Korea

Taiwan

USA

ITRS

1998

Update

1999

ITRS

2000

Update

2001

ITRS

2002

Update

2003

ITRS

2004

Update

2005

ITRS

(Work In Progress)

タスクフォース、クロスカット活動

半導体産業・技術開発の経済性委員会

STRJ
1998年発足

1999	2000	2001	2002	2003	2004
STRJ報告	STRJ報告	STRJ報告	STRJ報告	STRJ報告	STRJ報告
STRJ	STRJ	STRJ	STRJ	STRJ	STRJ

2004年度(2005年3月)STRJワークショップ

STRJ委員長、増原利明

半導体産業や技術開発に関する熱心なご
討論、STRJ活動に対する建設的ご批判を
ぜひお願いいたします。